

フランス ANC 主催会計リサーチ・シンポジウムの報告

ASBJ 常勤委員 ^{かわにし}川西 ^{やすのぶ}安喜

はじめに

2016年12月12日、フランス・パリにてフランスの会計基準設定主体である会計基準局（ANC）主催の第6回会計リサーチ・シンポジウムが開催された。今年は「会計と業績」をテーマに議論が行われ、日本を含む各国の会計基準設定主体がゲスト・スピーカーとして招待された。議論はフランス語又は英語で行われ、同時通訳が提供された。



スケジュール

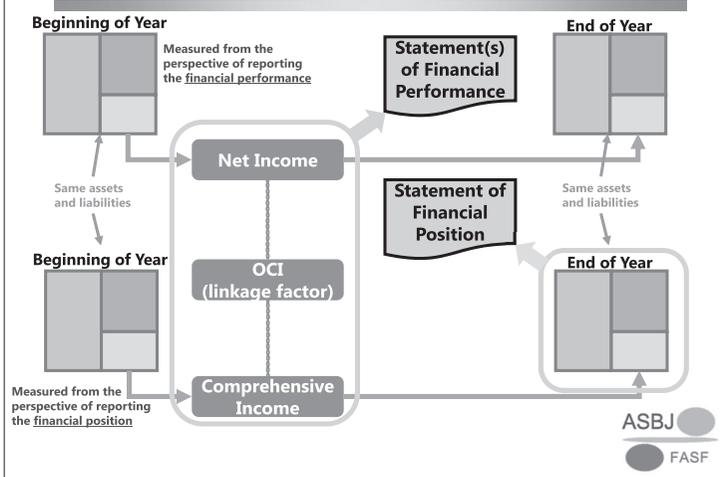
スケジュールは以下のとおりであった。

- 開会の辞
Patrick de Cambourg（フランス ANC 議長）、Philippe Danjou（元国際会計基準審議会（IASB）理事）、Larry Smith（米国財務会計基準審議会（FASB）理事）
- 「企業の組織構造と財務的なコミュニケーション戦略」
ゲスト：Roger Marshall（英国）
- 「投資家 vs その他の利害関係者」
ゲスト：Andreas Barckow（ドイツ）
- 「長期的な視点を統合しなければならないか？ 統合することはできるか？」
ゲスト：Linda Mezon（カナダ）
- 「Mark to Market の代替案：目的適合性及び公正性に関する研究」
ゲスト：Wei Ying（中国）
- 「代替的業績指標（APM）とその他の包括利益（OCI）」
ゲスト：筆者（日本）
- 「業績の測定における非財務要素」
ゲスト：Angelo Caso（イタリア）
- 「2015年のシンポジウム及び概念フレームワークのアップデート」
- 「業績と欧州の公益」
Pervenche Berès（欧州議会議員、ビデオ参加）、Patrick de Cambourg（フランス ANC 議長）、Jean-Paul Gauzes（欧州財務報告諮問グループ（EFRAG）議長）、Hans Hoogervorst（IASB 議長）、Erik Nooteboom（欧州委員会）、Benoît de Juvigny（フランス金融市場庁（AMF）事務局長）
- 閉会の辞
Patrick de Cambourg（フランス ANC 議長）

日本からの発表

日本からは、我が国における純利益とその他の包括利益の考え方、及びリサイクリングの考え方について筆者が発表を行った。以下に使用したスライドの一部を掲載する。

Our View on Net Income and OCI



Characteristics of Net Income

- The objective of the balance sheet and the income statement are different
 - Net income should represent the irreversible outcomes of an entity's business activities
- Since all assets and liabilities would be derecognised at some point in time:

$$\sum_{t=0}^{\infty} (\text{net income})_t = \sum_{t=0}^{\infty} (\text{comprehensive income})_t = \sum_{t=0}^{\infty} (\text{cash flows})_t$$

- We refer to this characteristic as "all-inclusiveness"
- The difference between net income and comprehensive income is essentially a timing difference
- Recycling of all OCI items is needed as a mechanism to maintain this characteristic

ASBJ
FASF

おわりに

シンポジウムを通じ、フランスの参加者から一貫して聞かれた意見は、公正価値の使用は慎重に行うべきであるということと、OCI項目はリサイクリングすべきであるということであった。リサイクリングについての考え方が我が国の考え方と合致していることから、多くの参加者から、日本からの発表において示した考えに賛同する旨のコメントをいただいた。